

業 務 等 質 問（回 答）書

提出日：令和 7 年 1 1 月 2 1 日

発 注 機 関 名	こども・家庭課	公 告 日	令和 7 年11月14日
業 務 名 業 務 箇 所 名	長野県母子父子寡婦福祉資金未収金回収業務		
質 問 内 容	<p>【 1 】仕様書 4 対象債権</p> <p>① 初回委託予定債権の件数・金額</p> <p>② ①の中で未収発生から 5 年以上経過している債権の件数・金額</p> <p>③ ①の中で未収発生から 5 年未満の債権の件数・金額</p> <p>④ ①の中で他の弁護士事務所やサービサー等にすでに委託したことがある債権の件数・金額</p> <p>【 2 】仕様書 5 （ 1 ）債務者への催告及び調査</p> <p>臨戸訪問や住民票取得による住所調査は、弁護士判断での実施でよろしいでしょうか。</p> <p>【 3 】仕様書 5 （ 4 ）収納金の払込</p> <p>① 選定後に「翌月20日まで」を「翌月30日まで」に変更の協議は可能でしょうか。</p> <p>② 納付書は、「ひと月にまとめて 1 枚」か「債務者ごとに 1 枚」か「債務者の月ごとに 1 枚」かご教示ください。</p> <p>【 4 】仕様書 5 （ 5 ）収納状況の報告</p> <p>「委託収納報告書」「委託収納金計算書」は、項目が同等であれば受託者の任意様式でもよろしいでしょうか。</p> <p>【 5 】仕様書 6 （ 2 ）対象債権の追加</p> <p>来年度以降も継続して契約する場合、来年度以降の追加予定債権はどれくらいでしょうか。</p> <p>【 6 】契約書 第 6 条 契約保証金</p> <p>契約保証金は必ずお支払いする必要がありますか。受託者が過去に同規模程度の契約履行実績がある等、免除ができるケースがあればご教示ください。</p>		

回答日：令和7年11月27日

回	答	<p>【1】仕様書4 対象債権</p> <p>① 205件 73,982千円</p> <p>② 188件 70,462千円</p> <p>③ 17件 3,520千円</p> <p>④ 160件 58,982千円</p> <p>【2】仕様書5（1）債務者への催告及び調査 構いません。</p> <p>【3】仕様書5（4）収納金の払込</p> <p>① 可能です。</p> <p>② 「ひと月にまとめて1枚」または「債務者ごとに1枚」です。</p> <p>【4】仕様書5（5）収納状況の報告 構いません。</p> <p>【5】仕様書6（2）対象債権の追加 一年あたり45件 15,000千円程度を見込んでいます。</p> <p>【6】契約書 第6条 契約保証金 長野県財務規則第143条第3項により、「契約人が過去2年間に 国又は地方公共団体と種類及び規模をほぼ同じくする契約を2回 以上にわたって誠実に履行した実績を有する者であり、かつ、当該 契約を確実に履行するものと認められるとき」は免除が可能です。</p>
---	---	---